

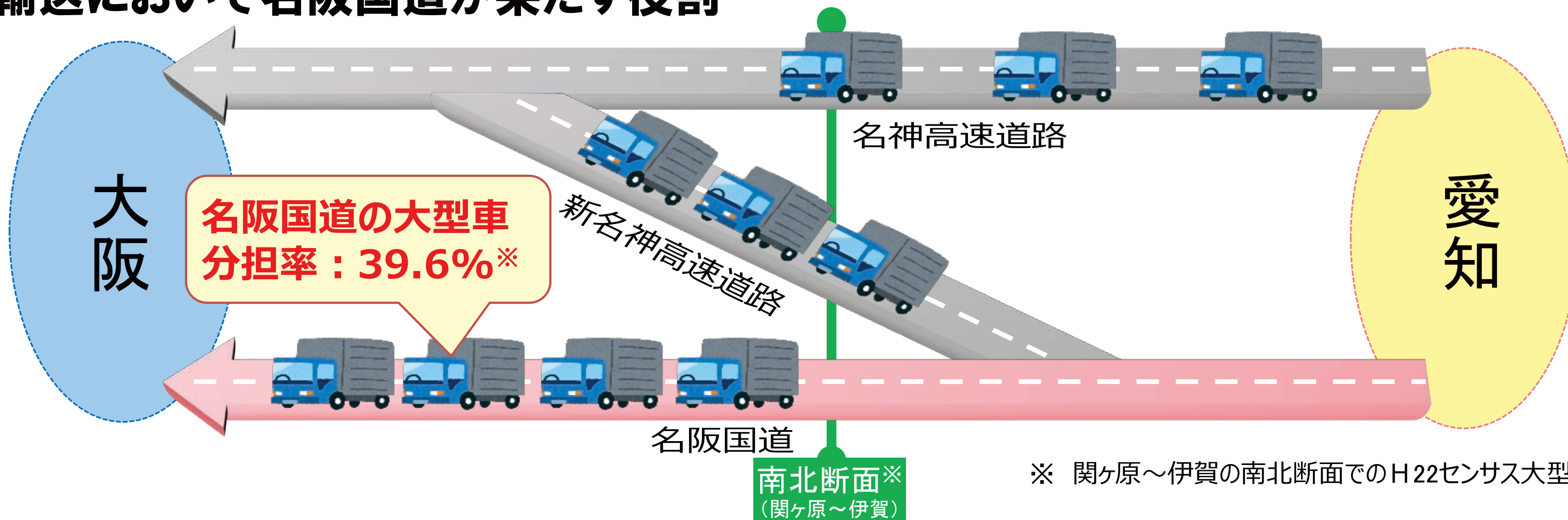
広域的な効果

ストック効果

広域的な 貨物流動を支援

南北断面※における物流交通の約4割が名阪国道を利用

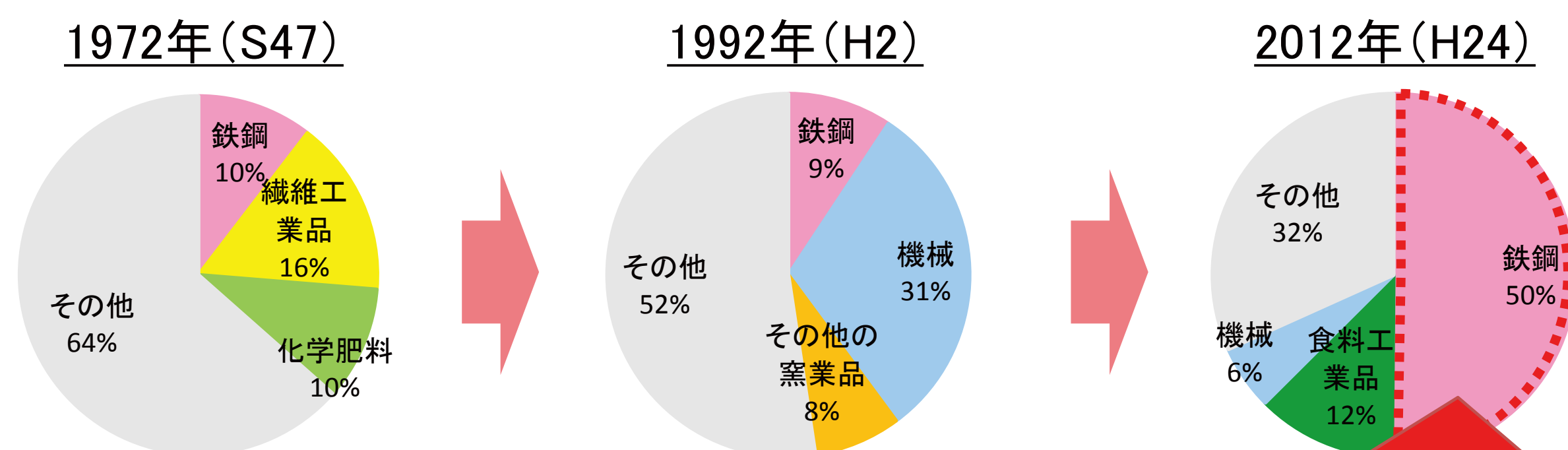
■ 輸送において名阪国道が果たす役割



※ 関ヶ原～伊賀の南北断面でのH22センサス大型車交通量より

名阪国道を使って、これまでに約1,000万トンの鉄鋼を輸送

■ 愛知⇒大阪間の輸送品目（各年の上位3品目とその他）



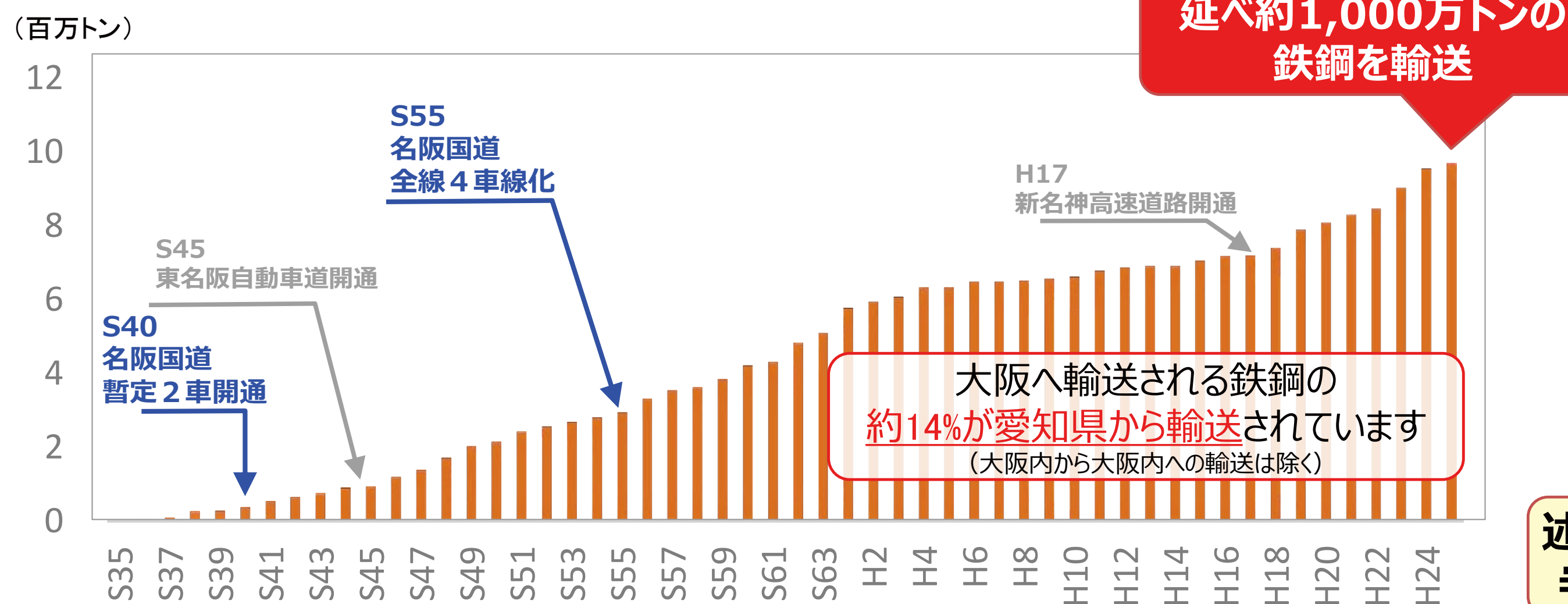
※ 出典：貨物流動調査結果

現在は、愛知⇒大阪の輸送品目のうち、
約5割を鉄鋼が占める

(参考) 名古屋港周辺に集積する製鉄企業



■ 愛知⇒大阪間の鉄鋼輸送量の推移



※ 出典：貨物流動調査結果

※ 新名神開通以降（H20年～）は大型車分担率約40%（H22年センサスより）、H19年以前は約50%（H17年センサスより）として、名阪国道の輸送量を推計



述べ約1,000万トン
≒名古屋テレビ塔3200基分に相当

- ・丸鋼・角鋼などの各種鋼材を製造し、大阪府の全域に輸送しています。
- ・愛知から大阪まで最短の経路でコストを抑えて輸送できるので、**陸上輸送**の約7～8割は名阪国道を利用しています。

愛知県の鉄鋼メーカーより

